



至誠

勝田第三中学校 学校だより 第18号
令和6年10月10日(木)発行
文責:校長 川上徹行



勝田三中HP

今年度の「全国学力・学習状況調査」結果より

年度始めの4月、全国の小学6年、中学3年が一斉に行っている「全国学力・学習状況調査」結果のお知らせです。夏休みに結果が届き、分析も完了しましたのでお伝えいたします。平均正答率は、経年変化も含めて以下のようにしております。

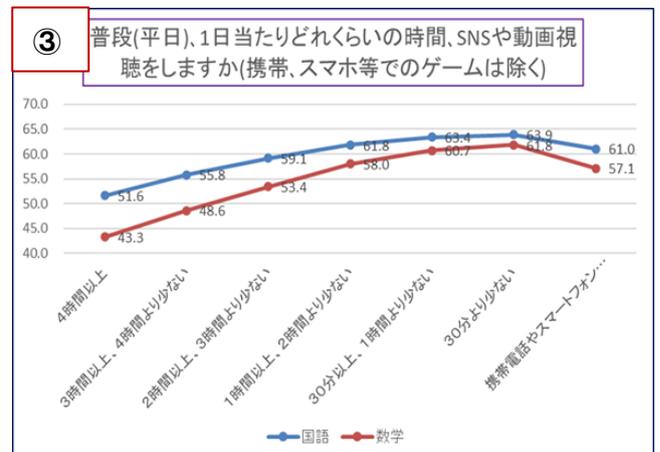
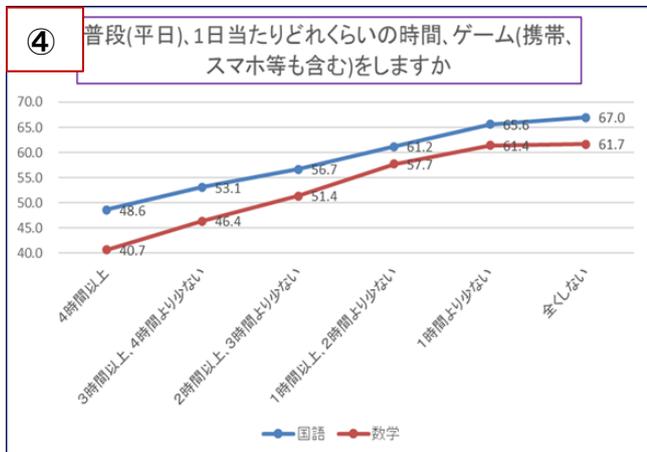
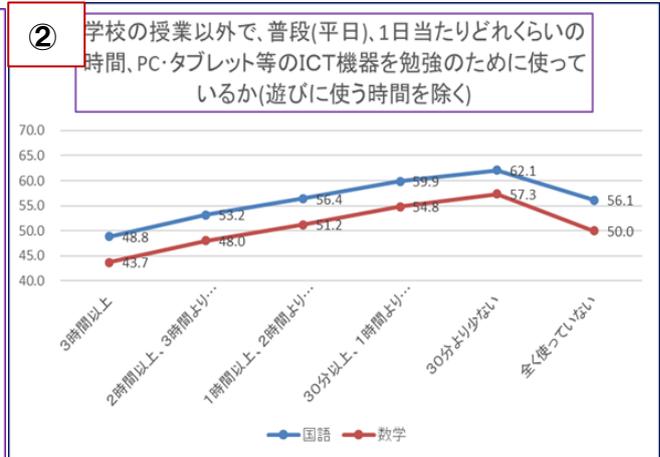
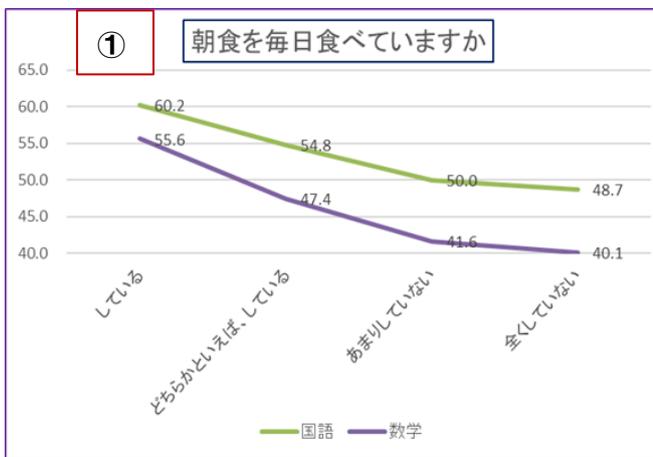


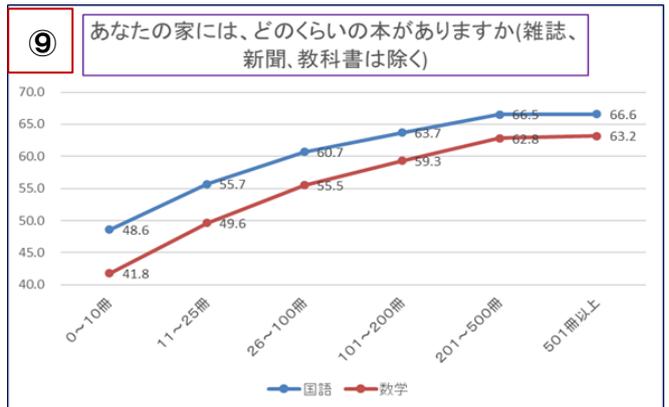
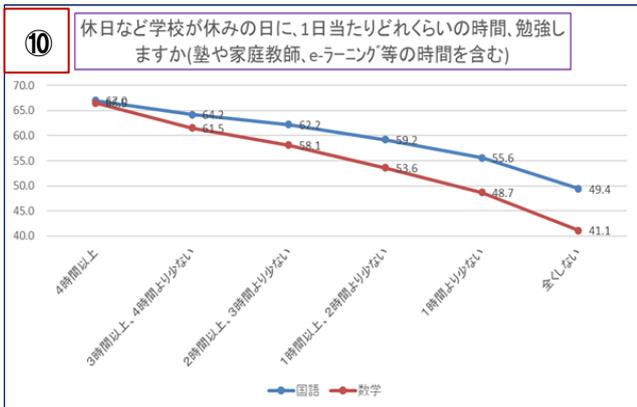
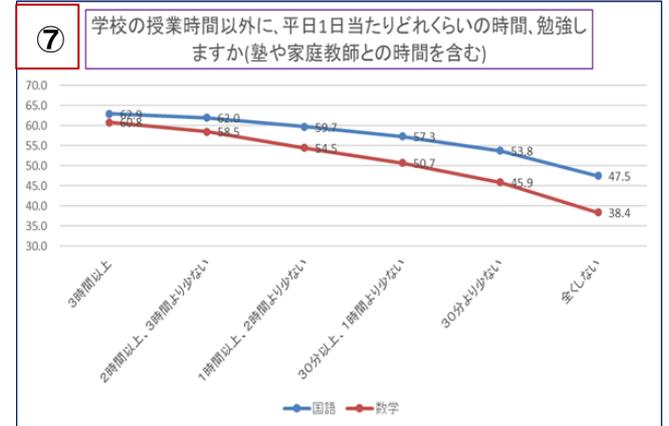
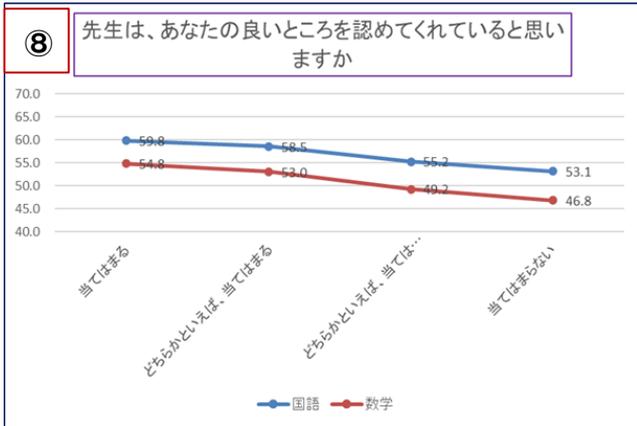
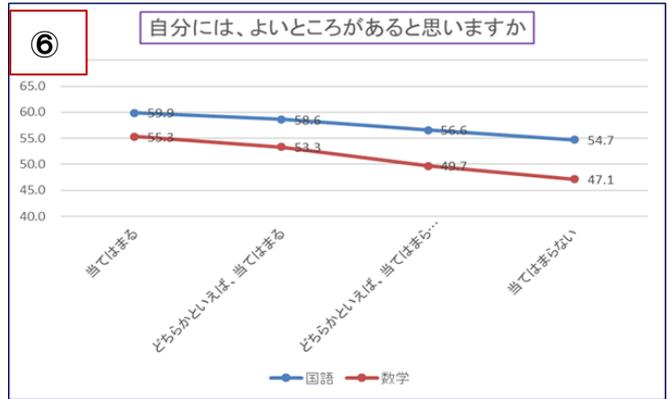
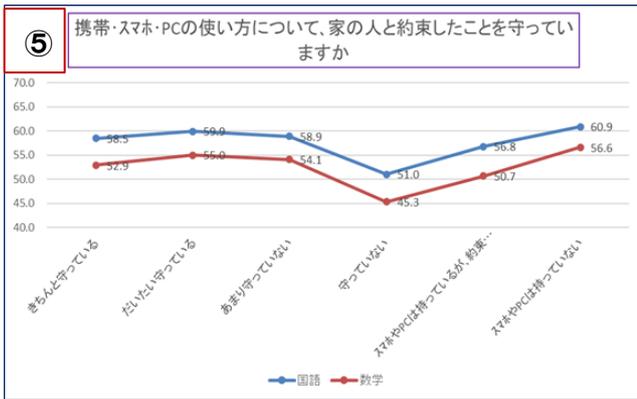
本校の平均正答率推移	R 4	R 5	R 6
国語	69 [0.0]	69 [-0.8]	55 [-3.1]
数学	52 [+0.6]	54 [+3.0]	50 [-2.5]
理科(R4)、英語(R5)	51 [+1.7]	40 [-5.0]	

※ []内は全国平均との比較

8月の職員研修で誤答が多かった問題を中心に分析しました。国立教育政策研究所の授業アイデア例なども参考にしながら、様々な発言を結び付けて自分の考えをまとめたり、統合的、発展的に考察したりする活動などを効果的に取り入れた「授業の改善」について、協議しました。研修で学んだことを、積極的に授業に取り入れようと本校職員も必死に取り組んでいます。教師も生徒たちと同様に「学び」続けることを、大切にしています。

※以下は、生徒質問紙と正答率とのクロス集計結果(全国)です。ご家庭での関わり方の参考になれば幸いです。





- ①…基本的生活習慣の中でも、最も重要な一つが食習慣です。特に体温と血糖値を上げるためには糖質(炭水化物等の多糖類)とタンパク質です。その日のエネルギーをしっかりと摂って頭がよく回転するようにするためにも、朝食は不可欠です。
- ②…授業以外(家庭学習等)で、どのようにPC・タブレット等を利用していくのが良いかを考える参考になるデータといえます。何でもかんでもデジタルで学習という考えでなく、鉛筆・ノートのようなアナログも有効に使うと、学習の定着が図れることを示唆しているとも言えます。
- ③④…平日のゲーム使用やSNS・動画視聴の時間との相関ですが、1時間未満だと平均正答率の落ち込みはあまり見られませんが、それを超えて時間が増加するほど、低くなっています。
- ⑤…約8割のご家庭で使用のルールを作っていただいています。その中でも、ルールを守る意識がない生徒の正答率が低い傾向が見られます。
- ⑥…自己有用感(自分は人の役に立てている)、自己効力感(自分はできると力を信じられる)が高い生徒ほど、正答率が高くなっている。
- ⑦…承認欲求と正答率の相関も認められます。学校では教師が、家では保護者がしっかりと認めてあげることで、次の行動への動機づけを強化することができると考えられます。
- ⑧⑨…家庭での学習時間ですが、たくさんできるに越したことはありません。最低でも毎日1時間の実施(宿題等も含めて)できるようにしていきたいです。
- ⑩…家での蔵書数ですが、やはり数十冊以上ある環境が望ましいといえます。